



エコアクション21

環境活動レポート

(2010年4月1日～2011年3月31日)



2011年 6月1日



越野建設株式会社

目 次

1. 環境方針	P 3
2. 組織の概要	P 5
3. 基準年の環境負荷と環境目標	P 6
4. 主要な環境活動計画の内容と取組結果の評価（本社事業所）	P 7
5. 主要な環境活動計画の内容と取組結果の評価（現場作業所）	P 9
6. その他の活動	P 10
7. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無	P 11
8. まとめ	P 12

1. 環境方針

[環 境 方 針]

私たちの営みは、すべてにわたって、地球環境にさまざまな影響と負荷を与えることで成り立っています。太古より母なる地球に抱かれ、育まれてきた人間社会は、今、地球の一員としての新たな価値観を創造し「持続可能な地球の実現」に向けて、積極的な行動を起こすべき時に至りました。

越野建設は、役職員ひとりひとりが、良き企業市民としての社会的責任を自覚し、法令遵守を徹底するとともに、環境配慮を通じて地域社会への貢献を図るべく、以下の取り組みを進めてまいります。

1. エコアクション 21に基づく環境マネジメントシステムを構築、運用し積極的に環境負荷の軽減に努める。
2. それぞれの職場において環境保全、汚染防止に努め、さらに省資源(水資源を含む)、省エネルギー、CO₂排出量、廃棄物の削減、リサイクルの推進に努める。
3. それぞれの職場において、環境目標を設定し、その達成と改善に努める。
4. 建築の企画設計及び施工にあたり、お客様やその関係者に対し、省資源、省エネルギー、環境負荷の削減に役立つ提案を積極的に行なう。
5. 当社ならびに協力会社の従業員に対し、環境保全に関する啓発活動を実施し、環境方針の周知と理解を図る。
6. 本環境方針は、一般の方にも公開する。

2008年9月30日

越野建設株式会社

代表取締役 **越野充博**

エコアクション21

省エネルギー
リサイクルの推進
汚染防止
環境保全
省資源
CO₂排出量の削減
廃棄物の削減

私たち越野建設は
東京都北区自治体イニシアティブプログラムに参加。
エコアクション21の認証を取得いたしました。
未来に向けて、全社員、関連業者の協力のもと、
地球環境保護への取組みを着実に進めてまいります。



KOSHINO
CORPORATION

越野建設株式会社

<http://www.e-koshino.co.jp>



エコアクション21
認証・登録番号0004073

2. 組織の概要

1) 事業所名及び代表者氏名

越野建設株式会社

代表取締役 越野充博

2) 所在地 (認証・登録範囲)

本社 (東京都北区王子4-22-9)

3) 環境管理責任者氏名・担当者連絡先

環境管理責任者 取締役建設部長 越野有策

担当者 建設部工事長 米田吉夫

連絡先 電話 03-3913-4511

FAX 03-3913-4723

<http://www.e-koshino.co.jp>

e-mail:info@e-koshino.co.jp

4) 事業活動の概要

総合建設業

5) 事業の規模

建築工事高 約17.4億円 (2011年度)

従業員数 46名

本社建物 R C 3階建 延床面積495m²

その他 都内・近県中心に4工事作業所 (2011年3月末現在)



エコアクション21



3. 基準年の環境負荷と環境目標

環境目標	基準（実績）	目標		
	2007年	2009年	2010年 (当期)	2011年 (暫定)
本社事業所				
1. CO2 排出量 削減	36,660kg·co2 (66,054kWh)	3%削減 35,926kg·co2 (64,072kWh)	5%削減 34,827kg·co2 (62,751kWh)	6%削減 34,460kg·co2 (62,091kWh)
2. 廃棄物排出量 削減	7.92t	3%削減 7.76t	5%削減 7.52t	6%削減 7.44t
3. 水道使用量 削減	187t	3%削減 183.2t	5%削減 177.2t	5%削減 177.2t
現場作業所				
1. CO2 排出量 削減	1,809kg·co2/億円 (3,254kWh/億円)	3%削減 1,754 kg·co2/億円 (3,156 kWh/億円)	5%削減 1,718 kg·co2/億円 (3,091 kWh/億円)	6%削減 1,700kg·co2/億円 (3,059kWh/億円)
2. 廃棄物排出量 削減	21.6 t /億円	3%削減 21.0 t /億円	5%削減 20.5 t /億円	6%削減 20.3 t /億円
3. 水道使用量 削減	78.9t/億円	3%削減 76.5t/億円	5%削減 75.0t/億円	5%削減 75.0t/億円

※電力の CO2 排出係数は 0.555 kg·CO2/kWh を使用。

4. 主要な環境活動計画の内容と取組結果の評価（本社事業所）

主要な環境活動計画の内容	取り組み結果の評価（10年4月～11年3月）			
	目標	実績	達成区分	問題・今後の方向等
1. CO ₂ 削減 (電力使用量削減) ・ 不要照明の消灯 ・ エアコンの温度管理 ・ クールビズ、ウォーム ビズの励行 ・ パソコンのスリープモ ードを10分に設定 ・ 省エネ器具の研究調査 ・ 空調温度の設定見直し ・ 屋上表面に断熱塗料を 施工	34,827kg·CO ₂ (62,751kWh) 2007年度 36,660 [kg·CO ₂] (66,054kwh) の3%削減	35,047kg·CO ₂ (63,148kWh)	△	目標値には後 0.6%分の 220 kg·CO ₂ 削減出来ませんでした。 2010年度は太陽光発電シス テムを導入したことにより電 気使用量 2,452 k w h 分を補 完したが、目標に近づくこと は出来たものの、今年度は本 社勤務社員の増加により電気 使用量が増え最終的に目標達 成は出来ませんでした。
2. 廃棄物排出量削減 ・ 廃棄物分別の徹底 ・ 廃棄物量の計測実施 ・ 更なる削減方法の検討	7.52t 2007年度 7.92 t の3%削減	6.67t	○	目標を達成する事が出来ま した。 2011年度は更なる高い目 標達成に向けて新たな取組を 考えて行きたい。
3. 水道使用量削減 ・ 散水時の節水 ・ 手洗い時の節水 ・ 省エネの水廻り設備に ついて、調査、研究	177.2 t 2007年度 187t の3%削減	211.5t	✗	水道使用量はトイレの使用 がメインのため、本社勤務社 員の増加により使用量が増え 目標達成は出来ませんでした。 今後は一人当たりの使用量 削減の具体的方法の研究をし て行きたい。

○：目標達成 △：数量の削減は出来たが目標未達 ✗：目標未達（削減も出来なかった。）

※電力のCO₂排出係数は0.555 kg·CO₂/kWhを使用。

【CO2削減について補足】

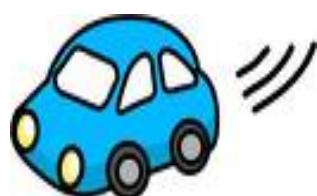
CO2削減について当社では、以前より化石燃料を消費する自動車について低燃費のリッターカー、軽自動車、ハイブリットカーへの買換え並びに自転車や公共機関の利用をうながしておりました。

そのため第1ステージとして当面の環境活動目標は電気使用量の削減を中心に活動を行ってまいります。そして第2ステージでとして電気使用量の削減のプラスアルファとして自動車の利用についての環境活動を更に考えて行きたいと考えております。

2010年度は1800ccガソリン小型車を、買い換えるのに当たり下記基準を重視して、ECTシステム（エネルギー効率の良い無段階変速器）搭載の1500ccガソリン小型車を購入しました。

【買換え選考基準】

- ① 『平成17年基準排出ガス75%低減レベル(4つ星)』以上の認定車両
- ② 『平成22年度燃費基準+25%』以上の達成車両
- ③ 車両のリサイクル可能率90%以上の車両



5. 主要な環境活動計画の内容と取組結果の評価（現場作業所）

主要な環境活動計画の内容	取り組み結果の評価（10年4月～11年3月）			
	目標	実績	達成区分	問題・今後の方針等
1. CO ₂ 削減 (電力使用量削減) ・ 不要照明の消灯 ・ エアコンの温度管理 ・ クールビズ、ウォームビズの励行 ・ パソコンのスリープモードを10分に設定 ・ 省エネの器具の研究調査 ・ 空調温度の設定見直し	1,718 [kg·CO ₂ ／億円] 3,091 (kWh/億円) (61,952 kWh) 2007年度 1,809 [kg·CO ₂ ／億円] (3,254kWh/億円) の3%削減	1,784 [kg·CO ₂ ／億円] 3,294 (kWh/億円) (38,305kWh)	△	取り組みは順調に進んでいたが、新築工事において1ルーム等の間取りの小さな建物の施工が多かった為、電気使用量の増加につながったと思われます。 今後は、節電対策の研究を進め、削減実行に努める。
2. 廃棄物排出量削減 ・ 廃棄物分別の徹底 ・ 廃棄物量の計測実施 ・ さらなる削減方法の検討	20.5[t／億円] 2007年度 21.6[t／億円] (419.8t) の3%削減	11.7[t／億円] (147.5t)	○	目標の達成が出来た。 今後も引き続き、分別等を含め更なる削減に努める。
3. 水道使用量削減 ・ 散水時の節水 ・ 手洗い時の節水 ・ 省エネの水廻り設備について、調査、研究	76.5[t／億円] 2007年度 78.9t／億円 (1,532t) の3%削減	123.2[t／億円] (1,507t)	×	杭工事・山留め工事・躯体工事の散水養生等は品質上必要な水量である為、削減は難しく目標達成には至らなかった。しかし削減方法については研究し使用量の削減に努める。

○；目標達成、△；数量の削減は出来たが目標未達 ×；目標未達

注記) CO₂削減量、廃棄物排出量、水道使用量の単位[kg·CO₂／億円]、[t／億円]は、工事完成高1億円当たりの単位です。

※電力のCO₂排出係数は0.555 kg·CO₂/kWhを使用。

6. その他の活動

- ①エコポイントについて、情報発信、採用の推進、施工と申請手続きのお手伝い。
- ②当社設計施工の建物における、『躯体断熱工法』の100%採用。
- ③省エネ家電への一部買換え（液晶TV）。
- ④LED照明の試験導入。
- ⑤外壁緑化システムの研究。



7. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

環境関連法規への違反・訴訟はありません。なお、関係当局よりの違反等の指摘は過去3年間ありません。



8. まとめ

3月11日に発生した東日本大震災とともに原発問題は、私たちの国が戦後築きあげてきたエネルギー政策の見直しを余儀なくさせ、従来の環境問題対策のあり方にも大きな課題を投げかけている。

企業の社会的責任のひとつとして、環境問題への対応が取り上げられ、説明責任が求められることが当たり前となった現在、たとえ中小企業であっても無関心であることは許されない。他方「いったい何が『持続可能社会の実現』に寄与するのか」という原点については、学習すればするほど難しく、一企業の努力では解決できない問題が多いことも事実である。また実務上も、仕事量や工法指定による影響の度合いの変動が激しい、私たち中小建設業者にとっての目標数値の取り方も課題であろう。

しかし、我が国にはその狭い国土と少ない資源を有効に活かす智恵として、古来循環型社会を築きあげてきた歴史がある。また世界の標準語となった感のある「もったいない」に象徴される日本人の儉約の美德に立ち戻ることは、一小企業として厳しい経済情勢を勝ち抜くためだけではなく、今こそ国民の義務としても必要なではないか。

私たちは、社員一人ひとり、協力会社各位による環境問題やエネルギー問題に資する真摯な取り組みこそ、当社が『持続可能な企業』として成長していくことに繋がり、ひいては『持続可能社会の実現』へ貢献することになると確信し、今後もエコアクション21をツールとした努力を続けていくものである。

